STIEBEL ELTRON

工事説明書　　交互給排気型熱交換換気システム

型式　**VLR-70E**シリーズ

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前にこの「工事説明書」を必ずお読みください。
この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、指定の純正別売部品を 使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。

安全上のご注意　必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

⚠ 警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷事故に結びつく可能性があるもの。	⚠ 注意　誤った取扱いをしたときに傷害を負うことや財産の損害に結びつくもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

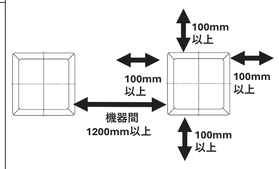
してはいけないことを示します。	改造禁止
水濡れ禁止	濡れ手禁止
必ず行うことを示します。	

⚠ 警告

- ●絶対に改造はしない。
- ●指示されている付属部品以外は使用しない。
- ●機器に専用のトランス経由のＤＣ２４Ｖ以外の屋内配線を接続しない。
- ●機器に水をかけない。
- ●屋外や湿気の多い場所、浴室内、水辺側の壁面には設置しない。
- ●濡れた手で機器を操作しない。
- ●機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発のおそれがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
- ●床面や天井面に設置しない。
- ●外気フードは、燃焼ガスや、住宅の排気を吸い込む位置、積雪等で埋もれる位置には設置しない。
- ●電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらない。
- ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの壁材を防火パイプ、または金属パイプが貫通する場合は、これらの壁材等が、電気的に接触しないように取り付ける。
- ●専用のブレーカを必ず設置する。
- ●屋内配線は、電源仕様、定格電流、及び消費電力を銘板ラベルで確認して、必ず内線規程に従って配線する。
- ●機器は、必ず機器の質量に耐えることができる壁に固定する。

⚠ 注意

- ●設置前の機器は、雨水が当たる場所や、雪上、氷上に置かない。
- ●機器に荷重を掛けない。
- ●パイプの延長や、ダクト等へ接続しない。
- ●ファンユニットモジュールや、コントロールユニットは、磁束、高調波等の影響を受ける場所には設置しない。
- ●ファンユニットモジュール、コントロールユニット間の通信ケーブルは、磁束、高調波等の影響を受ける場所、並びに他の電源配線と一緒に引き回さない。
- ●冷蔵庫や戸棚等の扉がディスプレイの前面に触れないようにする。
- ●ディスプレイは寝室等の睡眠をとるための部屋には設置しない。
- ●発泡性断熱材をパイプの周りに吹き付ける場合は、発泡後にパイプを変形させない。
- ●レンジフードや局所換気は同時給排型や電動給気シャッターを使用し、室内を負圧にしない。
- ●換気計算に基づいて設定した台数を設置する。
- ●ガス乾燥機等の排気量の多い機器を設置する場合は、必ず専用の外気取り入れ口を設ける。
- ●パイプは、屋内側から屋外側に向かって下り勾配にする。
- ●ファンユニットモジュールとコントロールユニット間の通信ケーブルは４芯、直径０．９ｍｍを使用し、距離は２５ｍ以下にする。
- ●地区計画等で指定がある場合や、防火区画を貫通する場所には、防火パイプセット、防火ダンパーを使用する。
- ●取り付けの際は、作業用手袋を着用する。
- ●前面パネルの取付位置について
  - ◦前面パネル間の離隔は、同一壁面において横方向で1200mm以上確保する。
  - ◦上下左右の離隔は100mm以上確保する。
  - ◦前面は800mm以上確保する。
  - ◦清掃時などのメンテナンスの際に安全に作業できる高さにする。
  - ◦階段や吹抜から遠ざける。

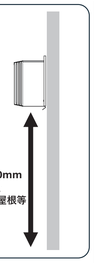


区分	離隔距離
前面	800mm以上
上面、下面、左面、右面	100mm以上
機器間	1200mm以上

お願い

外気フードは地盤面や下屋からの湿気等を取り込む可能性があるため、換気機外部の直下の地盤面や屋根面より、２メートル以上高い位置への設置を推奨します。

外気フードは屋外の局所換気の排気口や給湯器等の空気の汚染源とは３メートル以上離して設置することを推奨します。



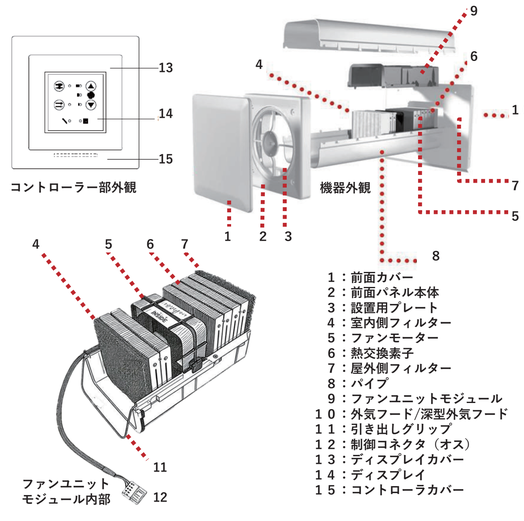
型式構成

型式構成

ＶＬＲ－７０　Ｗ　Ｄ　Ｆ　／Ｂ
①　②　③　④　⑤

①	機器名称	ＶＬＲ－７０		
②	外気フード色	Ｓ：シルバー	Ｗ：白	Ｂ：黒　ＣＢ：茶
③	耐火/防火仕様	Ｅ：標準仕様	Ｔ：耐火仕様	Ｄ：防火仕様
	パイプ	樹脂パイプ	金属パイプ	防火パイプ
	ダンパー	無	無	付属
④	外気フード形状	無記号：標準フード		Ｆ：深型外気フード
⑤	前面パネル色	無記号：白	／Ｂ：マットブラック	／Ｇ：マットグレー

各部のなまえ



1：前面カバー
2：前面パネル本体
3：設置用プレート
4：室内側フィルター
5：ファンモーター
6：熱交換素子
7：屋外側フィルター
8：パイプ
9：ファンユニットモジュール
10：外気フード/深型外気フード
11：引き出しグリップ
12：制御コネクタ（オス）
13：ディスプレイカバー
14：ディスプレイ
15：コントローラカバー

施工動画集

施工に関する動画を以下のQRコードから視聴できますので参考にしてください。

VLR-70E施工動画（木枠/ウレタン付き）

VLR-70E施工動画（木枠/ウレタン無し）

梱包部品構成

台数分箱数量


取付取扱説明書

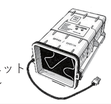

制御コネクタ（メス）


専用治具


パイプサポート材×2




パイプ


ファンユニット
モジュール

台数分箱数量




設置用プレート


前面パネル本体


前面カバー


カールプラグ×4


壁固定用ネジ×4


前面パネル脱着ネジ×4


皿小ネジ
×2


コントローラ用
コネクタ×5/8



トランス


コントローラ
カバー


コントローラカバー
用下地プレート

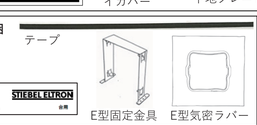



ディスプレ
イカバー

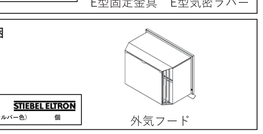

ディスプレイ用
下地プレート


コントロールユニット
＋ディスプレイ

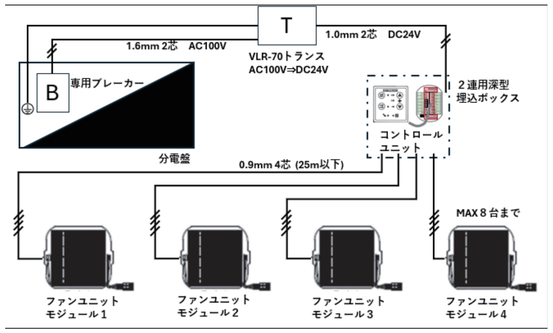
台数分同梱



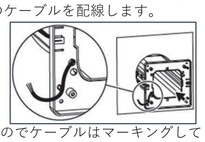
台数分同梱



屋内配線

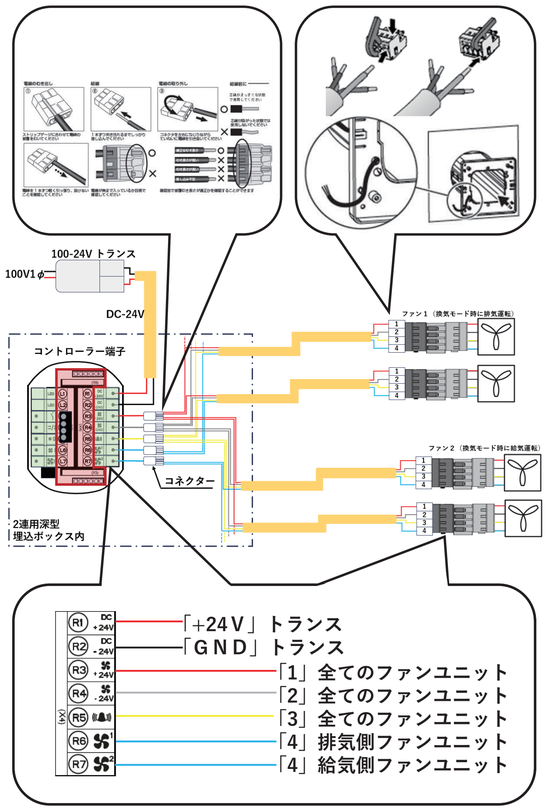


① 分電盤からトランスの設置位置との間に２芯１．６ｍｍの電源用ケーブルとアース線を配線します。
②トランスの設置位置からコントロールユニットを取り付ける２連用深型埋込ボックスとの間に２芯１．０ｍｍ以上の太さのケーブルを配線します。
③２連用深型埋込ボックスからファンユニットモジュールを設置する場所へそれぞれ４芯０．９ｍｍの通信ケーブルを長さ２５ｍ以内で配線します。この通信ケーブルはパイプの左側に配線し、　パイプの左側と内装仕上げ材の隙間から屋内に引き出せるようにします。
④２連用深型埋込ボックスにケーブルが集中するのでケーブルはマーキングしてください。



●配線の間違いを防ぐために、４色の通信ケーブルを使用ください
●トランスは点検できるように分電盤内に納めるか、専用のボックスを用意してその中に固定してください。小屋裏等に転がし設置等はしないでください。
●分電盤からトランス間は、ＡＣ１００Ｖに対応できる内線規程に適合したケーブルを使用してください。
●トランスからコントローラ、更にファンユニットモジュールの間はＤＣ２４Ｖに対応できる内線規程に適合したケーブルを使用してください。

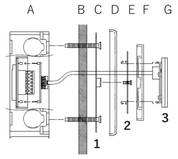
機器間の配線接続方法



ディスプレイの固定方法

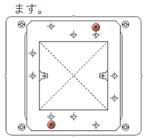
ディスプレイの固定はコントロールユニットの配線を完了させてから行ってください。





A：２連用深型埋込ボックス
B：プラスターボード
C：カバープレート用下地プレート
D：コントローラカバー
E：ディスプレイ用下地プレート
F：ディスプレイカバー
G：ディスプレイ

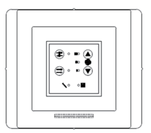
1：C:カバープレート用下地プレート**B:**プラスターボードを挟み込んで２本のネジで**A:**２連用深型埋込ボックスに固定します。


●：ネジ部

2：D:コントローラカバーは**E:**ディスプレイ用下地プレートと付属の皿小ネジ３×１２、２本で**C:**カバープレート用下地プレートに固定します。

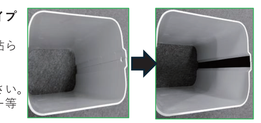

●：ネジ部

3：G:ディスプレイは**F:**ディスプレイカバーを挟み込んで**E:**ディスプレイ用下地プレートの凸部に差し込み固定します。

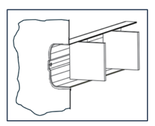


パイプの初期処理

パイプ内側の上下が組み合わさっている溝にパイプの室内側前端から付属のテープを貼ります。
●テープを貼る際に、テープを引っ張りながら貼らないよう注意してください。
●１本のテープから左右両方分を切り出して、パイプ内側の左右両方にテープを貼ってください。
●テープがパイプからはみ出した分は、カッター等で切り取ります。

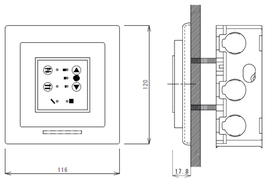


パイプ固定時はパイプの形状が変形しないようにするために、パイプ内に同梱してあるサポート材を、ファンユニットモジュールを入れるまでの間パイプ内に均等に配置しておきます。

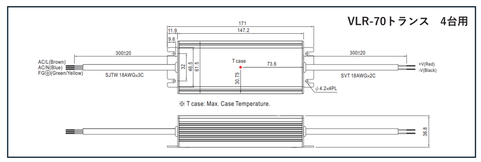


コントローラー部材の寸法

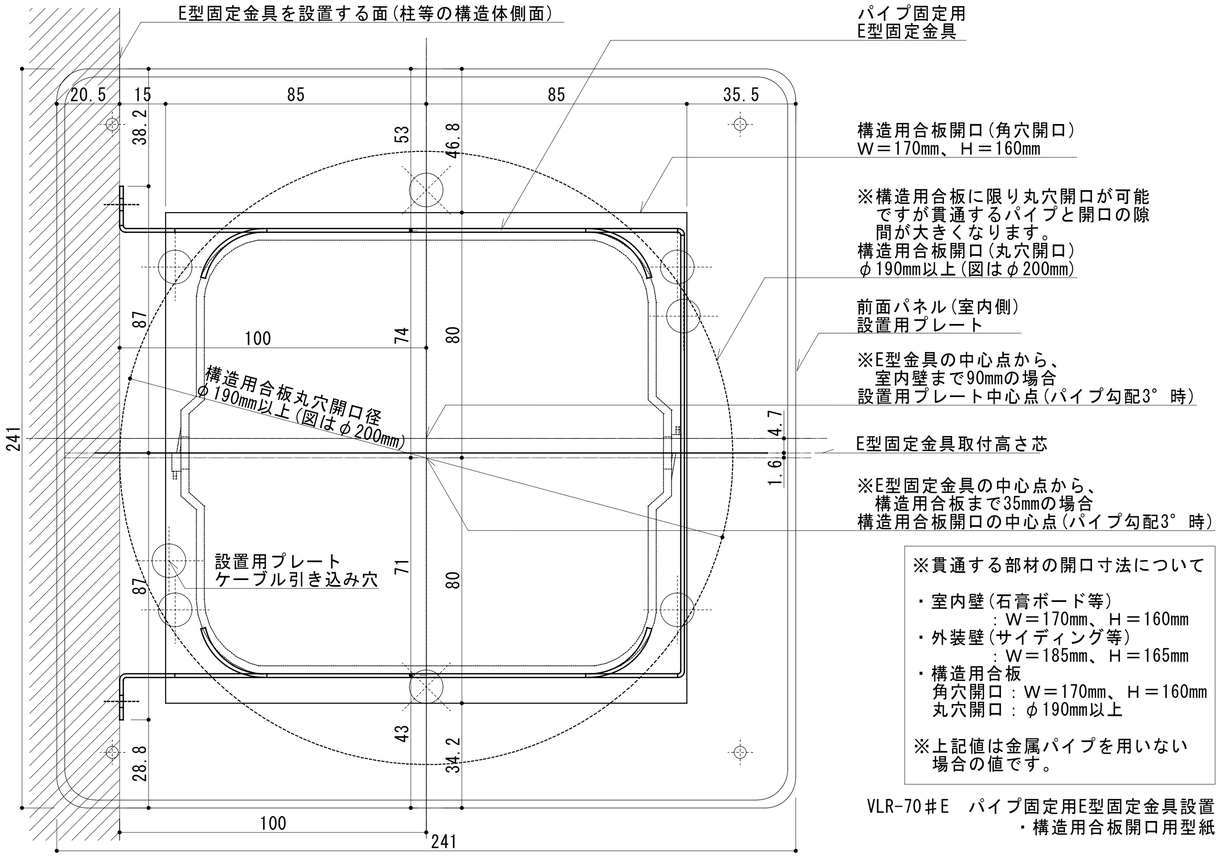
コントローラー



トランス



先行パイプの取付（構造用合板開口用型紙　参照）



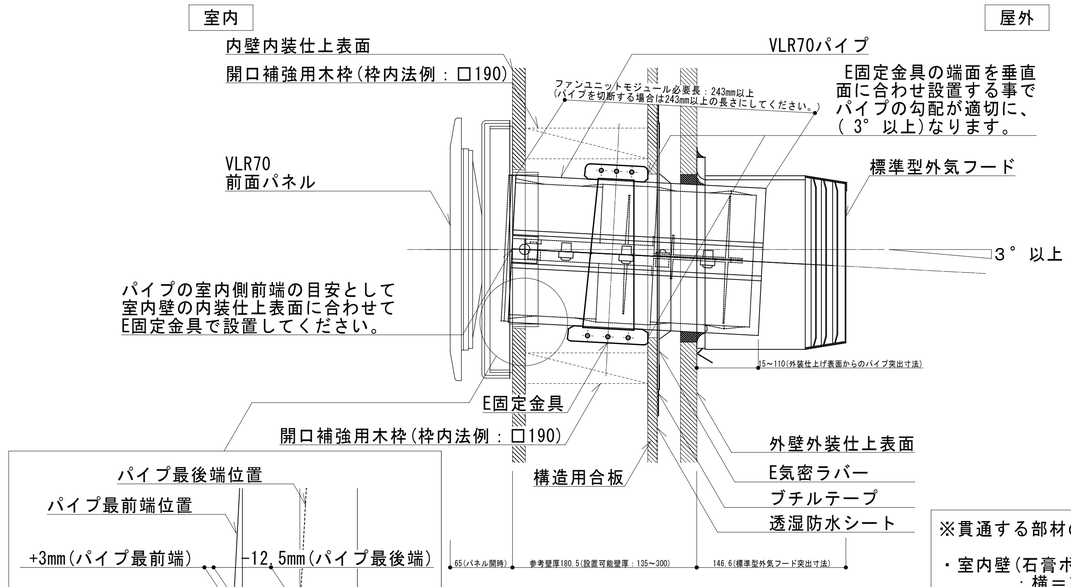
※貫通する部材の開口寸法について

・室内壁（石膏ボード等）
　：W＝170mm、H＝160mm
・外装壁（サイディング等）
　：W＝185mm、H＝165mm
・構造用合板
　角穴開口：W＝170mm、H＝160mm
　丸穴開口：φ190mm以上

※上記値は金属パイプを用いない
　場合の値です。

VLR-70＃E　パイプ固定用E型固定金具設置
・構造用合板開口用型紙

先行パイプの取付参考図



参考拡大図　noscale

※貫通する部材の開口寸法について

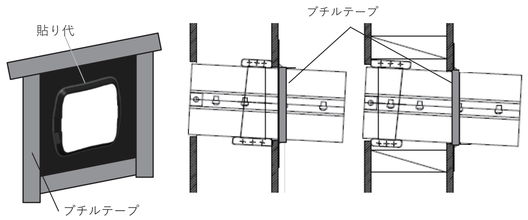
・室内壁（石膏ボード等）
　：横＝170mm、縦＝160mm
・外装壁（サイディング等）
　：横＝185mm、縦＝165mm
・構造用合板
　角穴開口：横＝170mm、縦＝160mm
　丸穴開口：φ190mm以上

※上記値は金属パイプを用いない
　場合の値です。

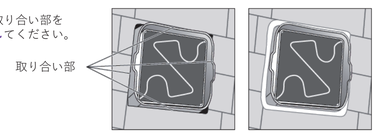
VLR-70＃E　木造在来工法参考納まり断面
noscale

屋外側　防水処理方法

①住宅に透湿防水シートが貼られた段階でE型気密ラバーを屋外側からパイプに被せます。
②上記の際に、貼り代を必ず屋外側に向けて設置します。
③気密ラバーの下側、側面側、上側の順番で透湿防水シートにブチルテープで固定します。
④気密ラバーの貼り代とパイプ間をブチルテープを使用して防水します。

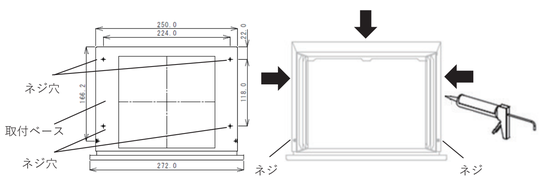


⑤外壁とパイプが貫通する取り合い部を
　コーキング等で止水処理してください。



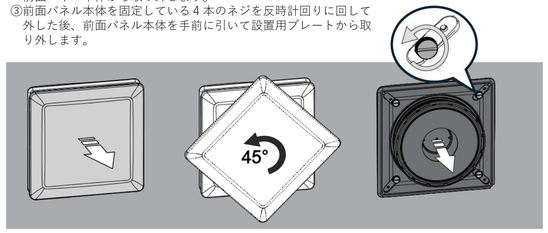
外気フードの設置

①外気フード取付ベースをネジ４本で外壁に固定します。
②外気フードは、上部の折り曲げを取付ベースの上部に引っ掛けて、２本のネジで外気フード
　を取付ベースに固定します。
③外気フードの左右と上をコーキングします。

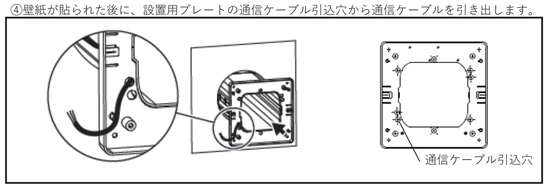


前面パネルの設置

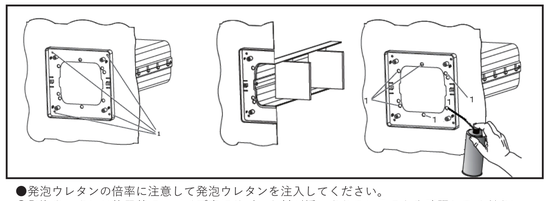
①前面カバーを手前に引きます。
②前面カバーを反時計回りに４５°回転させて、前面カバーを
　前面パネル本体から取り外します。
③前面パネル本体を固定している４本のネジを反時計回りに回して
　外した後、前面パネル本体を手前に引いて設置用プレートから取
　り外します。



④壁紙が貼られた後に、設置用プレートの通信ケーブル引込穴から通信ケーブルを引き出します。



⑤設置用プレートをパイプに接続して、ネジ穴４ヶ所（φ４）で設置用プレートを内壁に固定します。
⑥設置用プレート施工後に現場発泡ウレタンを充填することも可能です。発泡ウレタン使用時は
　硬化後の余分なウレタンを切り取ってください。

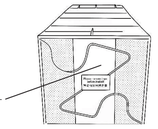


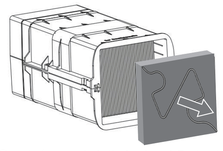
●発泡ウレタンの倍率に注意して発泡ウレタンを注入してください。
●発泡ウレタンの使用前にはパイプ内にサポート材が挿入されていることを確認してください。

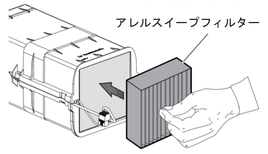
ファンユニットモジュールの設置

①屋外側フィルターを仮固定している透明テープを剥がします

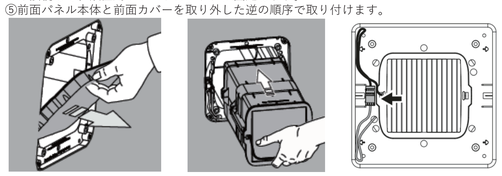
●アレルスイープフィルター（オプション）に交換する場合は
　屋内側の標準フィルターを支持材と共に外して
　アレルスイープフィルターを取り付けてください。
●取り外したフィルターと支持材は廃棄せずに保管ください。







②パイプ内に入れたサポート材を取り出します。
③ファンユニットモジュールをパイプ内に挿入します。
④通信ケーブル（４芯）が接続された制御コネクタ（メス）と制御コネクタ（オス）
　を接続して、設置用プレートのフックに固定します。
⑤前面パネル本体と前面カバーを取り外した逆の順序で取り付けます。



試運転の手順

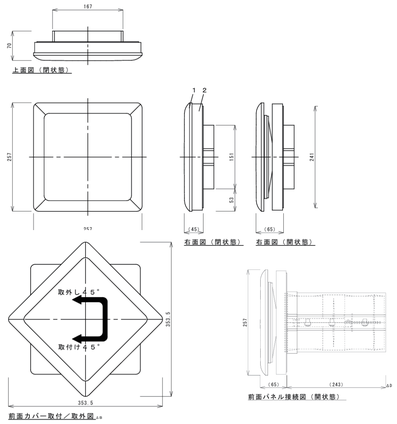
①機器のブレーカを「入」（ＯＮ）にします。
●システムチェックのため、ランプが全点灯後に左側ランプが順番に消灯します。その後、
全てのランプが点滅して操作できるようになります。



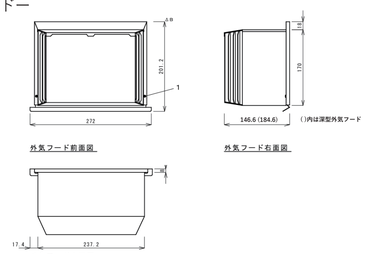
②　アップボタンを押します。
③　換気モードボタンを押して換気モードランプが点灯
　することを確認します。
④　熱交換モードボタンを押して熱交換モードランプが
　点灯することを確認します。
⑤　アップボタンを押して、風量ランプが下記の順番で
　点灯することを確認します。
　風量Ⅰランプのみ点灯　→　風量ランプⅡのみ点灯　→　風量ランプⅢの
　み点灯→風量ランプⅠとⅢが点灯　→　風量ランプⅠとⅡ、Ⅲ全て点灯
⑥　熱交換モードランプが点灯している状態、かつ風量ランプが全て点灯している
　状態で、５０秒間隔で風向（給気と排気）が切り替わることを確認します。
⑦　ダウンボタンを押していき、風量ランプが消灯して機器が停止することを確
　認してください。

前面パネルと外気フードの寸法

前面パネル



外気フード



日本スティーベル株式会社
〒140-0001　東京都品川区北品川1丁目9番2号
TOKYO Y.Bビル 2階　TEL:03-5715-4655

T5260601　20260601A